

音楽科学習指導案

日時 平成24年11月21日(水) 5校時
学級 1年2組 男子13名 女子14名 計27名
生徒 大槌町立大槌中学校
指導者 教諭 伊藤英利子

1 題材名 『魔王の音楽を形作っている要素や歌詞の内容と曲想のかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わおう』

2 題材について

題材は、学習指導要領について下記をもとに設定する。

B 鑑賞 (1) ア 音楽を形作っている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。 (2) イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて鑑賞すること。 [共通事項] ア 旋律、強弱、音色
--

本題材は、詩と音楽が一体となっている歌曲で、登場人物による場面の変化が明確である。そのため、共通事項を通して聴き比べる活動が発達段階において可能である。「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらが変化することによって登場人物の心情がどのように変化するかを感じさせる。また、自分が感じたことを理由付けて、自分の言葉で説明するなど、伝える力を育てることをねらいとする。また、ゲーテの詩をもとにシューベルトが作曲したことから、詩と音楽を関連付けて鑑賞させ、知覚、感受したと照らし合わせながら学習を深めていく。それらの活動を通して学んだことを生かし、「魔王」全曲を知覚、感受しながら聴き、自分なりの価値判断をもって曲のよさや美しさを自分の言葉で批評できる力を育てたい。

生徒達は、「明るい」、「暗い」など、直感的に感じ取った雰囲気を表すことはできるが、その根拠がどのような要素によるのかということについては十分に理解していない。また音楽の要素についても「強い」、「弱い」などを知覚していても、それによってどのような思いやイメージ、よさをもたらすのかについて深めていくことはできていない。深く考えることや、自分の思いを言葉に表して伝えることが苦手な生徒が多く、音楽のよさや感じ取ったことを自分の言葉で説明したり、深め合う活動が十分にできない状態である。

それらの力をつけていくために、第1時では、始めに曲の題名や歌詞の内容は伏せて自由に鑑賞させ、曲から感じ取ったり気づいたりしたことを発表させる。その後「子」に注目させ、旋律(音の高さ)、強弱、音色(歌い方)がどのように変化しているかを知覚させる。さらにそのことから「子」の心情の変化を感受させる。その後、「魔王」を「子」と比較聴取させ、旋律(音の高さ)、強弱、音色(歌い方)の表現を知覚、感受させたい。

第2時では、ゲーテとシューベルトについて、リートの特徴やこの曲の時代背景を中心に学習する。さらに魔王の詩の内容を理解し、前時の学習と関わらせて学習を深める。その後楽曲全体を鑑賞し、前時の学習内容を手がかりにしながら、批評文を書き、よさや美しさを味わって聴く。

3 題材の指導目標

「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、要素と曲想の関わりを感じ取って聴き、詩と音楽が一体となっている「魔王」の特徴を主体的に解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わうことをねらいとする。

【題材の評価規準】

【観点1】 音楽への関心・意欲・態度	「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
【観点4】 鑑賞の能力	①「魔王」の音楽を形づくっている旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して聴き、その良さや美しさを味わい、根拠を持って批評している。

4 題材の指導計画及び評価計画（2時間扱い）

時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	指導の手立て (C)
第1時 本時	<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語による「魔王」を全曲聴き、印象や気づいたことをワークシートに書き、意見交換する。 登場人物を確認する。 「子」の歌の部分4回に着目して聴き、旋律、強弱、音色の特徴や変化をワークシートに書き、意見交換する。 「子」の心情の変化を捉える。 「魔王」の歌の部分3回に着目して聴き、旋律、強弱、音色の特徴や変化をワークシートに書き、意見交換する。 「魔王」の心情の変化を捉える。 	<p>鑑①「子」、「魔王」それぞれの部分の旋律、強弱、音色の変化を知覚し、それから感受したことを1つでも学習プリントに書いている。</p>	<p>鑑①「子」、「魔王」それぞれの部分の旋律、強弱、音色の変化を知覚し、それから感受したことを具体的に学習プリントに書いている。</p>	<p>鑑①他者の意見を聞き、共感したことやわかったことを学習プリントに書くよう促す。</p>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> 「魔王」の作曲者と作詞者や作曲された頃の時代について学ぶ。 「魔王」の詩を理解する。 「魔王」を全曲聴き、理解を深める。 今までの学習を振り返りながら、ドイツ語による「魔王」全曲を聴く。 今までの学習を踏まえて、「魔王」の音楽の美しさやよさを人に紹介する批評文を書く。 	<p>関①学習した内容をワークシートにおおむね記録している。</p> <p>鑑②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して聴き、その良さや美しさを味わい、根拠を持って批評している。</p>	<p>関①学習した内容をワークシートに全てきちんと記録している。</p> <p>鑑②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解して聴き、その良さや美しさを味わい、根拠を持って明確に批評している。</p>	<p>関①自分の意見が書けなくても他者の意見を聞き、共感したことやわかったことをワークシートに書くよう促す。</p> <p>鑑②自分の意見が書けない生徒には、一番印象に残ったところを書くように促す。</p>

5 本時の目標 (1/2時)

鑑賞の能力	「子」、「魔王」の旋律、強弱、音色を知覚し、それらから感受したことを学習プリントにまとめ、それを発表している。
-------	---

6 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法	教具等
導入 (8分)	1 ドイツ語による「魔王」を全曲聴き、感じたことを発表する。 2 曲の題名と登場人物を確認する。 3 学習課題を把握する。	・情報を与えず、自由に聴かせる ・曲の題名と登場人物の簡単な説明を行う。		・学習プリント ・CD
登場人物による音楽表現の違いを、旋律、強弱、音色を手がかりに聴き取ろう。				
展開 (37分)	4 「子」の歌の部分4回に着目して鑑賞する。 ①「子」の歌の部分4回を聴き、感じ取ったことをまとめる。 ②旋律、強弱、音色に着目して聴き取る。 ③①と②から、「子」の心情の変化を捉える 5 「魔王」の歌の部分3回に着目して鑑賞する。 ①「魔王」の歌の部分3回を聴き、感じ取ったことをまとめる。 ②旋律、強弱、音色に着目して聴き取る。 ③①と②から、「魔王」の心情の変化を捉える	・「子」の部分の音楽だけを流し、歌から感じ取った雰囲気や様子を聴き取らせる。 ・旋律、強弱、音色(歌い方)に注目して聴かせ、雰囲気や様子と関わらせる。 ・「魔王」の部分の音楽だけを流し、歌から感じ取った雰囲気や様子を聴き取らせる。 ・「子」の時の考え方を生かし、旋律、強弱、音色(歌い方)に注目しながら聴き、雰囲気や様子と関わらせる。	【鑑賞の能力】 「子」、「魔王」の旋律、強弱、音色を知覚し、それらから感受したことを学習プリントにまとめ、それを発表している。	・CD ・学習プリント ・CD ・学習プリント
終末 (5分)	6 今日の授業を振り返る	・わかったことや学んだことを記入させ、数名に発表させる。		・学習プリント